

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容	設問形式
A方式 11月2日 問題▶P.20～	第一問	評論	片田珠美 『孤独病 寂しい日本人の正体』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択) 内容把握 語句の用例 ことわざ 理由把握 内容合致判定 主題把握
	第二問	評論	日高敏隆 『犬のことば』	漢字(選択) 空欄補充(接続語) 語句の意味(慣用句を含む) 理由把握 内容把握 内容合致判定
A方式 11月3日 問題▶P.24～	第一問	評論	河本英夫 『〈わたし〉の哲学』	漢字(選択) 空欄補充(接続語 適語選択 文脈判断) 語句の意味 内容把握 内容合致判定
	第二問	評論	榎本博明 『ほめると子どもはダメになる』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択) 文学史 慣用句 四字熟語 内容把握 内容合致判定
B方式 12月10日 問題▶P.29～	第一問	評論	今井むつみ 『学びとは何か——〈探求人〉になるために』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択 接続語 文脈判断) 語句の意味 内容把握 タイトルの判定
	第二問	評論	佐伯啓思 『「市民」とは誰か』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択) 語句の意味 理由把握 内容把握 内容合致判定

傾向

全て現代文の評論からの出題で、基本・標準レベルの問題が中心。

1 出題形式

現代文の評論からだけの出題。全てマークシート方式の選択問題で、基本的に五者択一だが、読解問題では四者択一が多く、六者択一の問題もある。マーク数は、30問程度。

2 出題内容

随筆に近いものもあるが、全てが評論に分類される論理的な文章からの出題である。全てにおいて漢字問題、語句の意味などの語句問題、空欄補充の問題、文章の内容を問う問題が出題されている。空欄補充問題の一部は、接続語を選ぶ問題となっている。

漢字は、同音の漢字から適切なものを選ぶ問題で、全て熟語からの出題。語句の問題は頻出である。四字熟語や慣用句のほか、前後の文脈から判断しなければならないものも出題されている。文章の内容に関する問題では、文章中で傍線部が表す内容をとらえるものが多い。

また、本文の内容と合致するものを選ぶ問題もよく出題されている。タイトルを判定する問題も出題されているが、こ

れは主題を問う問題の一種と考えることができる。全体の内容を把握することが求められる。

3 難易度

知識問題、読解問題ともに極端な難問はなく、基本から標準レベルの問題である。知識問題では、漢字、語句の意味、四字熟語などに関する基本的な知識を問う問題が中心。ただし、一部に文章中の空欄にあてはまるものを選ぶ形での出題が見られる。この場合は、文脈判断が必要となる。読解問題のほとんどは、文章中に根拠が述べられているが、問題文の内容を注意深く見きわめ、選択肢と照らし合わせなければならないものも出題されている。選択肢相互の違いを把握し、文章の内容と注意深く照らし合わせるようにしたい。一部を除き、各選択肢はそれほど長くないので、比較的内容をとらえやすい。

また、文章全体の内容のほかに、主題やタイトルを問う問題も出題されているので、文章の全体像をとらえる力も求められる。

対策

漢字や語句に関する基礎的な知識と論理的な読解力を身につけよう。

1 基礎的な知識を身につけよう

漢字、語句の意味ともに、確実な知識を身につけておこう。漢字に関しては、同音の漢字を正確に使い分けられるようにしておく必要がある。語句は、四字熟語や慣用句を広く学ぶとともに、評論など論理的な文章でよく用いられる熟語の意味をしっかりと把握しておこう。評論では、やや難解な表現も多いが、知らない熟語でも、漢字から意味を推測して読み取れるようになると読解の助けになる。

2 論理的な読解力をしっかり養おう

指示語、接続語などに着目して、文章を読み解く力を身につけよう。これらは、論理的文章を構成する最も基本的な要素である。こうした語を手がかりに、文章の論理的な構成を

把握する力を身につけ、それをもとに、筆者が何を問題にし、どのような理由・根拠、あるいは具体例をもって、どのような結論を導いているかをしっかりととらえられるようにしておこう。

また、一般に、論理的な文章では、対立する二つの要素を比較・検討しつつ論を進めていく場合が多い。このようなキーワードをとらえ、何と何が、どんな点で対比されているのかをつかむ力を身につけよう。

3 類題演習を数多くこなそう

類題を数多く解いて、文章と選択肢を照らし合わせる手順に慣れておこう。また、制限時間内に解けるよう、読解のスピードアップにも取り組むのが望ましい。